

2023年3月期 第1四半期決算説明

2022年8月5日

 **ダイダン**株式会社

目次

連結業績サマリー

第1四半期決算ハイライト

通期業績予想

＜参考＞ DATA FILE



**2023年3月期
第1四半期決算**

連結業績サマリー

連結経営指標等（経営成績）の概要

（単位：百万円）

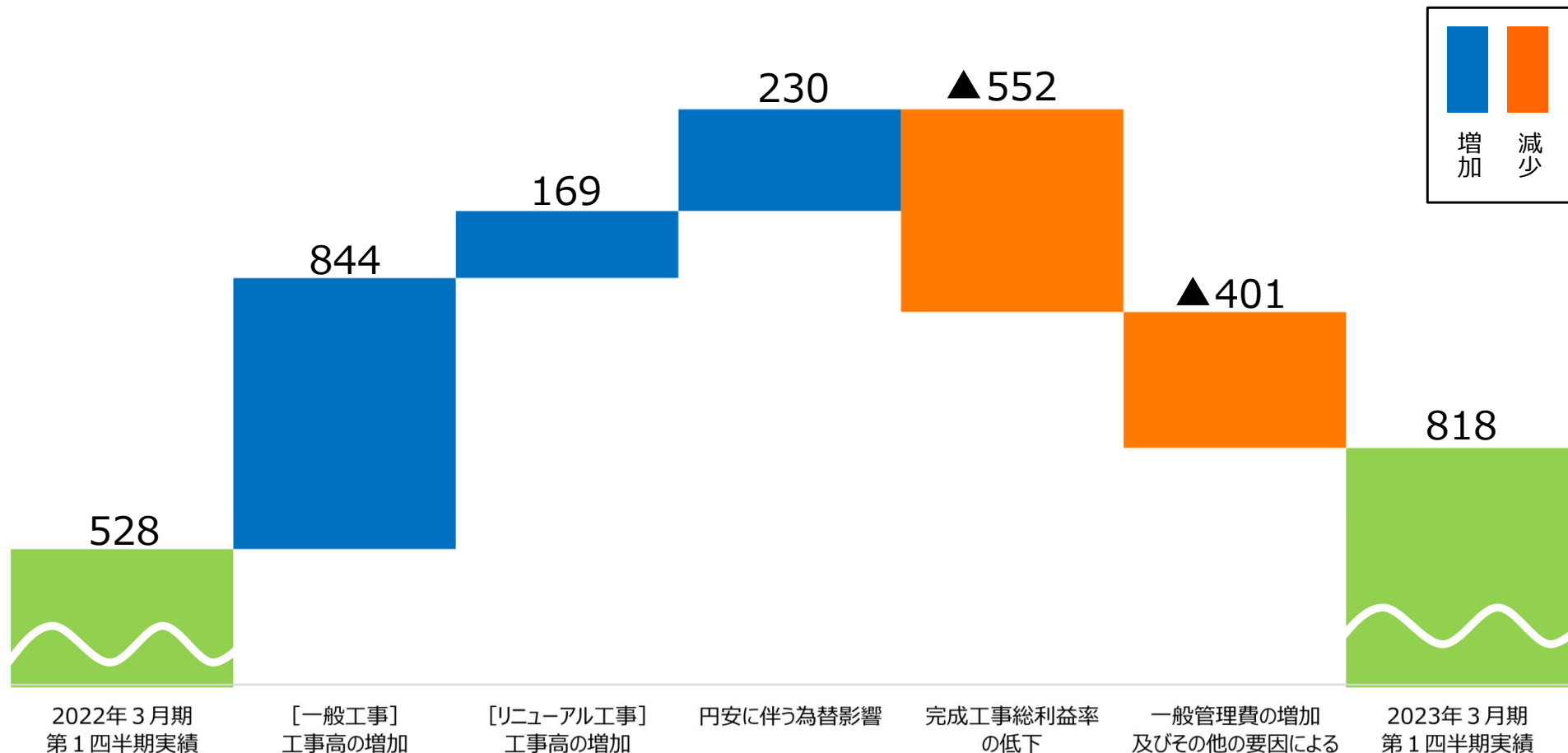
	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増減	増減率
期首繰越工事高	143,043	163,782	20,738	14.5%
受注工事高	44,698	66,712	22,014	49.3%
完成工事高	27,256	35,342	8,085	29.7%
完成工事総利益	3,587	4,280	693	19.3%
完成工事総利益率(%)	13.2%	12.1%	▲1.0p	
営業利益	528	818	289	54.8%
営業利益率(%)	1.9%	2.3%	0.4p	
経常利益	760	1,308	547	72.0%
経常利益率(%)	2.8%	3.7%	0.9p	
親会社株主に帰属する四半期純利益	501	862	360	71.9%
四半期利益率(%)	1.8%	2.4%	0.6p	

事業環境および当社の概要

- 受注工事高は、企業の設備投資意欲の増加を背景に、再開発案件および産業施設案件を中心に受注が好調に推移し、特に当期に大型工事を獲得した結果、前期と比べ大幅に増加しました。
- 受注競争の激化や資機材価格の高騰により想定した利益改善が見込めず、完成工事総利益率が低下しましたが、前期に確保していた繰越工事が進捗し、完成工事高が増加したことにより、完成工事総利益も増加しました。
- 上記の要因の結果、増収増益となりました。

連結営業利益増加の内訳

(単位：百万円)



- 一般工事の利益増加は、空港、医療関連施設および再開発などの大型工事が順調に進捗したことによります。また、リニューアル工事の利益増加は、工場・データセンターなどの大型工事が順調に進捗したことによります。
- 前期末から始まった急速な円安は当期においてもさらに進行し、これにより在外支店の外貨建売上高が増加しました。
- 当期に進捗した工事において、受注競争の激化や資機材価格の高騰により想定した利益改善が見込めず、完成工事総利益率は低下しました。

連結部門別工事高の推移

(単位：百万円)

			2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増減	増減率
受注工事高	電気工事		6,697	7,906	1,209	18.1%
	管工事	空調工事	27,352	45,041	17,689	64.7%
		水道衛生工事	10,648	13,764	3,115	29.3%
		小計	38,001	58,805	20,804	54.7%
	合計		44,698	66,712	22,014	49.3%
完成工事高	電気工事		4,070	6,102	2,032	49.9%
	管工事	空調工事	16,135	21,446	5,311	32.9%
		水道衛生工事	7,050	7,792	741	10.5%
		小計	23,186	29,239	6,053	26.1%
	合計		27,256	35,342	8,085	29.7%
繰越工事高	電気工事		24,511	25,266	754	3.1%
	管工事	空調工事	97,155	129,228	32,073	33.0%
		水道衛生工事	38,818	40,656	1,838	4.7%
		小計	135,973	169,885	33,912	24.9%
	合計		160,484	195,152	34,667	21.6%

- 大型の再開発、データセンター・研究所、海外のリゾート施設の熱源工事の受注により、管工事の受注工事高は増加しました。
 - 空港や医療関連施設などの大型工事が順調に進捗したことにより、完成工事高は増加しました。
 - 再開発、産業施設、医療関連施設などの大型工事の受注により、繰越工事高は増加しました。
- ※管工事の内訳として、空調工事と水道衛生工事の区分を設けております。

連結経営指標等（財政状態）の概要

（単位：百万円）

	2022年3月期	2023年3月期 第1四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
純資産	77,242	77,040	▲201	▲0.3%	配当金の支払が利益剰余金の計上を上回ったため
総資産	139,099	126,427	▲12,672	▲9.1%	前期計上の債務の支払が進んだため
1株当たり純資産（BPS）	3,603.11円	3,592.78円	▲10.33円	▲0.3%	
株価純資産倍率（PBR）	0.58倍	0.59倍	—	—	（参考）2022年3月 株価終値：2,099円 2022年6月 株価終値：2,113円
自己資本比率	55.4%	60.8%	5.4p	—	

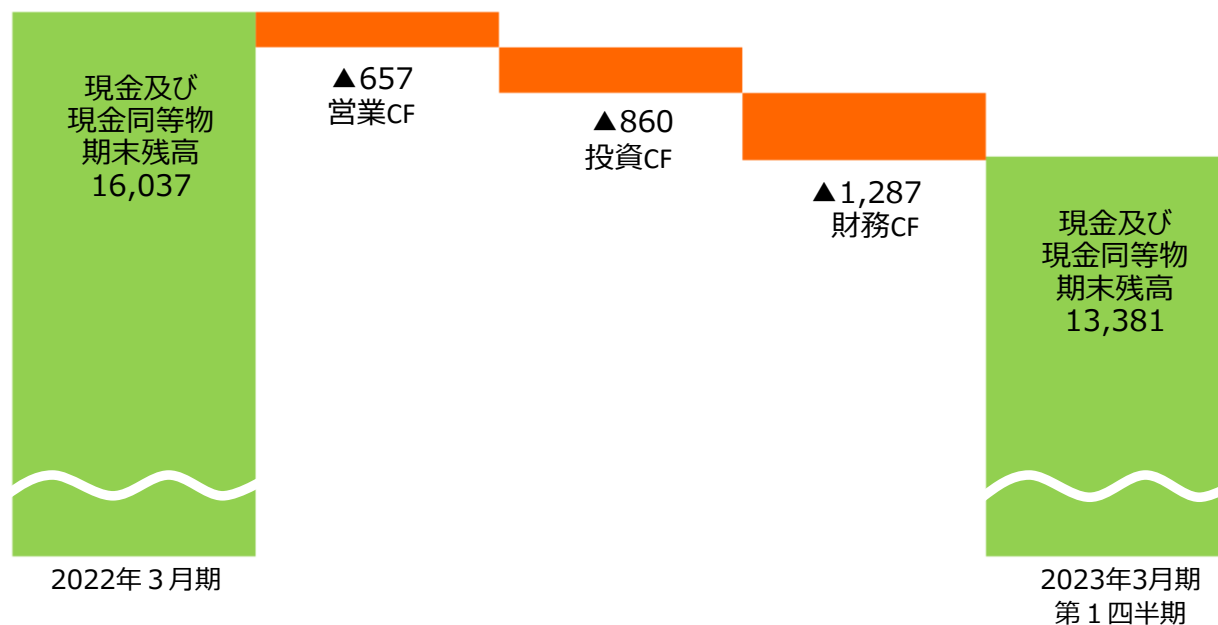
連結経営指標等（キャッシュ・フロー）の概要 【ご参考：決算短信では省略しております。】

（単位：百万円）

	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増減	増減率	主な増減要因・特記事項
営業活動によるCF	▲4,683	▲657	4,025	—	
投資活動によるCF	▲476	▲860	▲384	—	北陸支店の建替
財務活動によるCF	▲1,188	▲1,287	▲98	—	配当金の支払
現金及び現金同等物の期首残高	31,747	16,037	▲15,710	▲49.5%	
現金及び現金同等物の増減額	▲6,350	▲2,655	3,694	—	
現金及び現金同等物の 四半期残高	25,397	13,381	▲12,015	▲47.3%	

キャッシュ・フローの内訳（現金及び現金同等物期末残高の推移）

（単位：百万円）



- キャッシュフローの内訳は、営業CF（工事原価の支払いの先行）、投資CF（北陸支店の建替）、財務CF（配当の支払）それぞれの要因により、減少しております。
- 運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行と貸出コミットメントライン契約を締結しております。

The background features a diagonal split. The upper-left portion is a dark blue triangle containing a faint, stylized illustration of a person in a dynamic pose, possibly a dancer or athlete, surrounded by glowing green and blue particles. The lower-right portion is a light gray triangle. The text is positioned within the dark blue triangle.

**2023年3月期
第1四半期決算**

第1四半期決算 ハイライト

リニューアル・直接・官庁工事の状況

(単位：百万円)

	2022年3月期			2023年3月期	前年同期比	
	第1四半期	第2～4四半期	通期	第1四半期	増減	増減率
リニューアル工事	24,803	64,421	89,224	30,251	5,447	22.0%
リニューアル比率(%)	55.5%	46.4%	48.6%	45.3%		
大規模・中規模の改修工事	15,539	39,065	54,605	16,491	951	6.1%
小規模の改修工事	9,263	25,355	34,619	13,759	4,496	48.5%
一般工事	19,894	74,548	94,443	36,461	16,567	83.3%
受注工事高合計	44,698	138,970	183,668	66,712	22,014	49.3%
うち、直接受注	20,394	66,591	86,985	33,279	12,885	63.2%
直接比率(%)	45.6%	47.9%	47.4%	49.9%		
うち、官庁工事	3,927	27,475	31,403	5,606	1,679	42.7%
官庁比率(%)	8.8%	19.8%	17.1%	8.4%		

- リニューアル工事は、企業活動の再開による設備投資意欲の増加を受け、特に小規模の改修工事が大きく増加し、前期比で増加しました。
- 一般工事は、国内の再開発や産業施設および海外の大型リゾート施設の熱源工事の受注により、前期比で増加しました。
- 直接受注の増加は、上記の産業施設工事や海外工事によります。

産業施設工事の状況

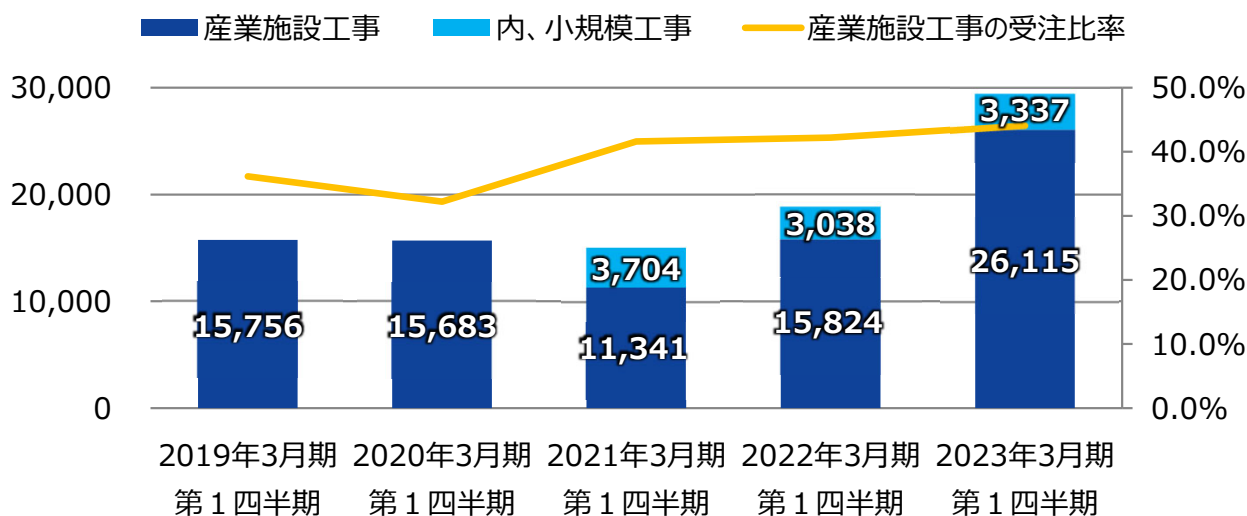
(単位：百万円)

	2022年3月期			2023年3月期	前期比	
	第1四半期	第2～4四半期	通期	第1四半期	増減	増減率
産業施設工事合計	18,862	55,771	74,633	29,452	10,589	56.1%
(受注比率%)	42.2%	40.1%	40.6%	44.1%		
受注工事高合計	44,698	138,970	183,668	66,712	22,014	49.3%

※工場、研究所、データセンター、物流施設を「産業施設」として区分しております。

産業施設工事の受注工事高の推移

(単位：百万円)



- データセンターの増設需要が引き続き高い傾向にあり、近年の設備投資額も増加傾向にあります。当期におきましても、大型のデータセンター案件を複数受注しています。
- 企業の設備投資意欲の増加を背景に、直近5年で最も高い受注工事高となっています。

海外事業の状況

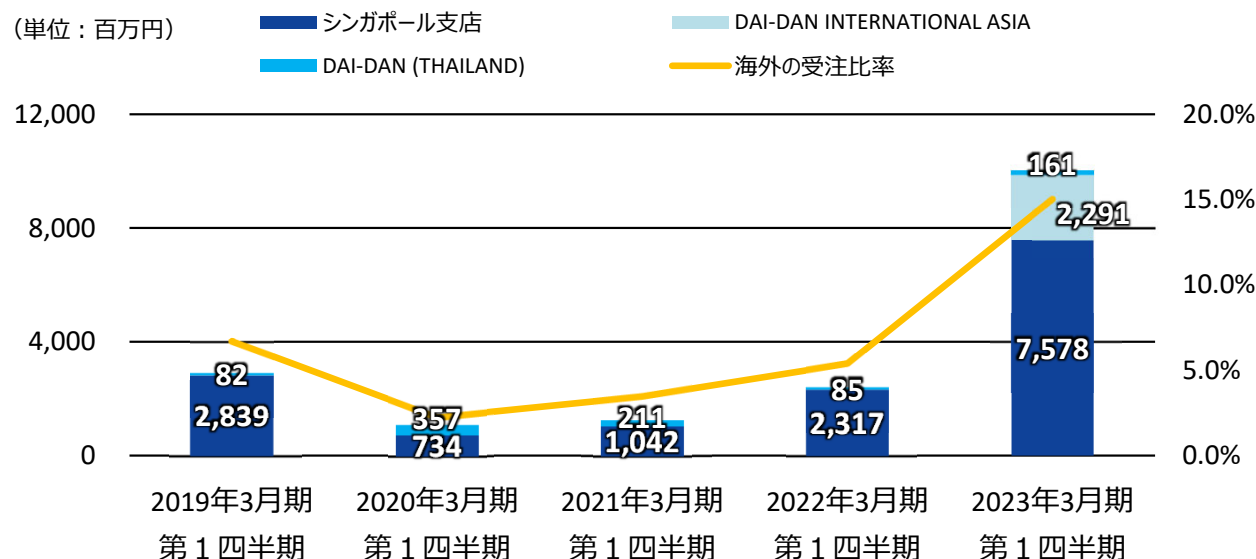
- 海外事業は、シンガポール支店、DAI-DAN INTERNATIONAL ASIA PTE.LTD.（シンガポール）、DAI-DAN（THAILAND）、およびDAI-DAN（VIETNAM）Co.,LTD.（ベトナム）を中心に活動しています。
- 新たな海外拠点として、今年度、台湾大暖股份有限公司（台湾）を設立しました。

（単位：百万円）

	2022年3月期			2023年3月期	前期比	
	第1四半期	第2～4四半期	通期	第1四半期	増減	増減率
海外工事合計（連結）	2,401	8,984	11,386	10,029	7,628	317.6%
（受注比率%）	5.4%	6.5%	6.2%	15.0%		
受注工事高合計	44,698	138,970	183,668	66,712	22,014	49.3%

海外の受注工事高の推移（連結）

（単位：百万円）

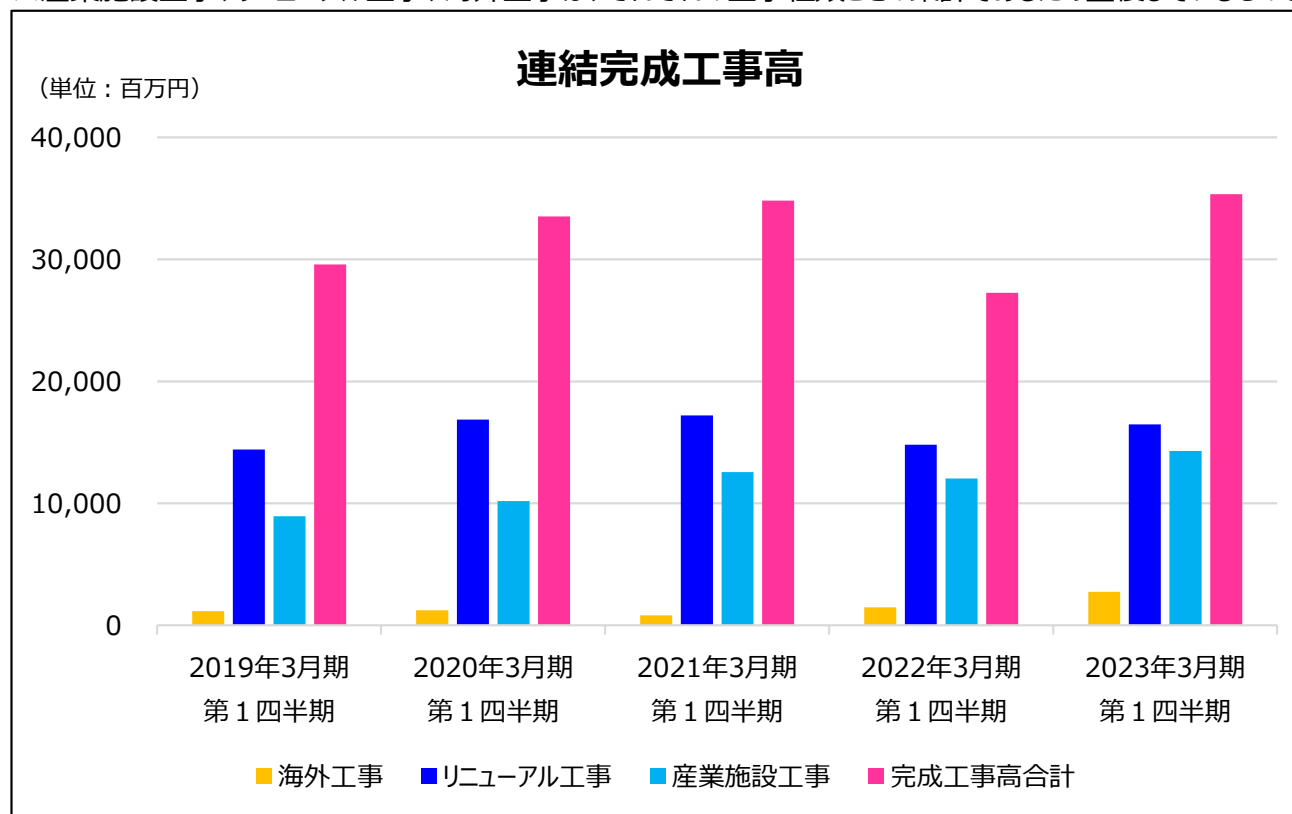


- シンガポールは、新型コロナウイルスと共生する「ウィズコロナ」路線への移行により、受注活動と現場運営ともコロナ前の状況に戻りつつあります。
- 当期はシンガポールにおいて大型リゾート施設の熱源工事の受注があり、前年同期比で大幅に増加しました。

(単位：百万円)

	2022年3月期 第1四半期		2023年3月期 第1四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
完成工事高合計	27,256	100.0%	35,342	100.0%	8,085	29.7%
うち（産業施設工事）	12,030	44.1%	14,293	40.4%	2,263	18.8%
（リニューアル工事）	14,806	54.3%	16,479	46.6%	1,672	11.3%
（海外工事）	1,477	5.4%	2,738	7.7%	1,260	85.3%

※産業施設工事、リニューアル工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。

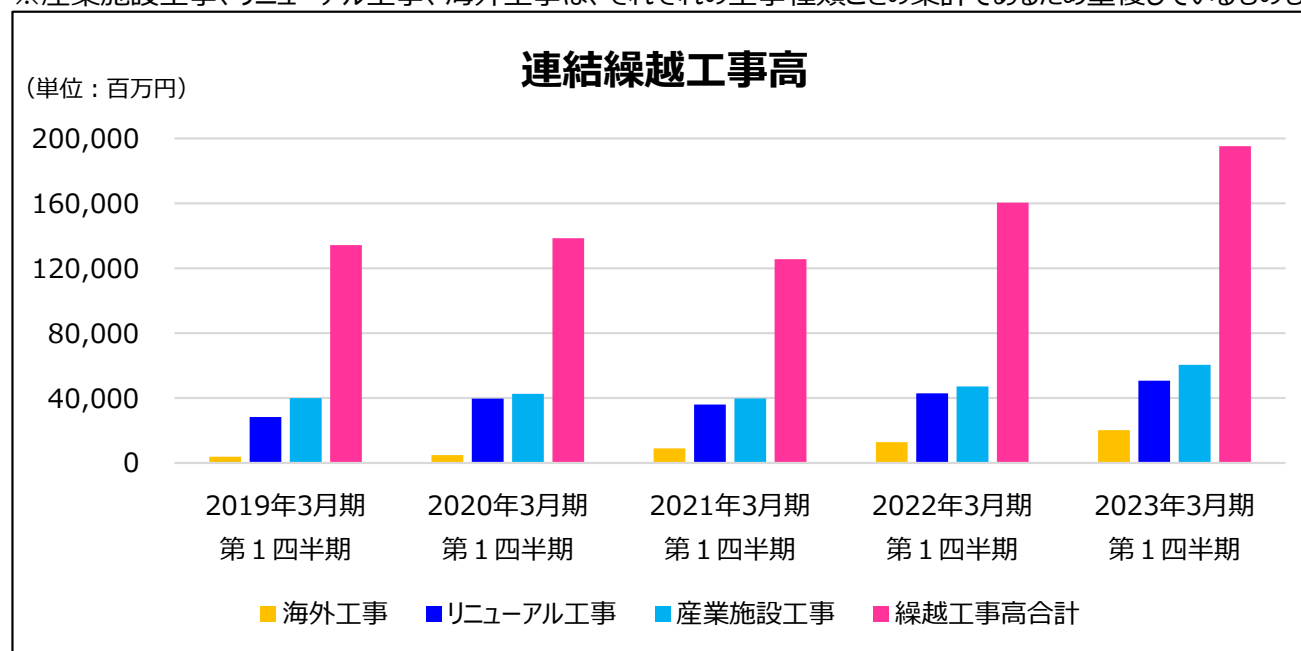


- 当期は空港や医療関連施設の大型工事を中心に進捗し、全体として完成工事高は増加しました。
- 産業施設工事、リニューアル工事は工場やデータセンターを中心に進捗し、完成工事高は増加しました。

(単位：百万円)

	2022年3月期 第1四半期		2023年3月期 第1四半期		前期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
期首繰越工事高	143,043	—	163,782	—	20,738	14.5%
受注工事高	44,698	—	66,712	—	22,014	49.3%
完成工事高	27,256	—	35,342	—	8,085	29.7%
繰越工事高	160,484	100.0%	195,152	100.0%	34,667	21.6%
うち（産業施設工事）	47,088	29.3%	60,417	31.0%	13,328	28.3%
（リニューアル工事）	42,851	26.7%	50,668	26.0%	7,816	18.2%
（海外工事）	12,790	8.0%	20,130	10.3%	7,339	57.4%
うち当期完成予定	89,348	—	104,264	—	14,915	16.7%

※産業施設工事、リニューアル工事、海外工事は、それぞれの工事種類ごとの集計であるため重複しているものも含まれます。



- 当期の繰越工事高は、受注工事高が完成工事高を上回り、前期と比べ増加しました。
- 医療関連施設や産業施設工事などの大規模案件を中心に、当期の出来高に寄与する手持ち工事を豊富に抱えております。



**2023年3月期
第1四半期決算**

**2023年3月期
通期業績予想**

連結通期業績予想

(単位：百万円)

	2022年3月期			2023年3月期			前期対比 通期	
	第1四半期	第2～4四半期	通期	第1四半期	第2～4四半期 (予想)	通期(予想)	増減	増減率
受注工事高	44,698	138,970	183,668	66,712	126,288	193,000	9,332	5.1%
完成工事高	27,256	135,673	162,929	35,342	139,658	175,000	12,071	7.4%
完成工事総利益	3,587	17,136	20,723	4,280	18,720	23,000	2,277	11.0%
完成工事総利益率(%)	13.2%	12.6%	12.7%	12.1%	13.4%	13.1%	0.4%	
営業利益	528	7,056	7,584	818	7,682	8,500	916	12.1%
営業利益率(%)	1.9%	5.2%	4.7%	2.3%	5.5%	4.9%	0.2%	
経常利益	760	7,335	8,095	1,308	7,392	8,700	605	7.5%
経常利益率(%)	2.8%	5.4%	5.0%	3.7%	5.3%	5.0%	0.0%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	501	5,277	5,778	862	5,138	6,000	222	3.8%
当期純利益率(%)	1.8%	3.9%	3.5%	2.4%	3.7%	3.4%	▲0.1%	

業績予想の前提

- 2022年5月11日に発表した決算短信から変更はございません。
- 当第1四半期は前期と比べ増収増益となり、当期完成予定の繰越工事も豊富であり、通期も業績予想のとおり推移する見込みです。

株主還元に対する方針

- 利益配当による株主への利益還元を経営上の最重要施策と考え、健全な財務体質の構築に努めております。
- 中期経営計画における数値目標のとおり配当性向30%以上を配当方針としております。

配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第2四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	45.00	45.00	90.00	1,949	30.8%	2.7%
2022年3月期	45.00	45.00	90.00	1,935	33.3%	2.5%
2023年3月期 (予想)	45.00	55.00	100.00	—	35.7%	—

- 当社は2023年3月4日に創業120周年を迎えます。これもひとえに株主の皆様をはじめ、ステークホルダーの皆様からのご支援の賜物と心より感謝申し上げます。
つきましては、これまでご支援いただきました株主の皆様へ感謝の意を表すため、今年度における当社の配当金は、普通配当90円に創業120周年記念配当10円を加え、1株につき年間100円（中間配当45円、期末配当55円）とさせていただきます。

自己株式取得について

- 株主還元及び資本効率の向上を目的とし、適宜検討してまいります。

＜参考＞
DATA FILE
〔通期〕

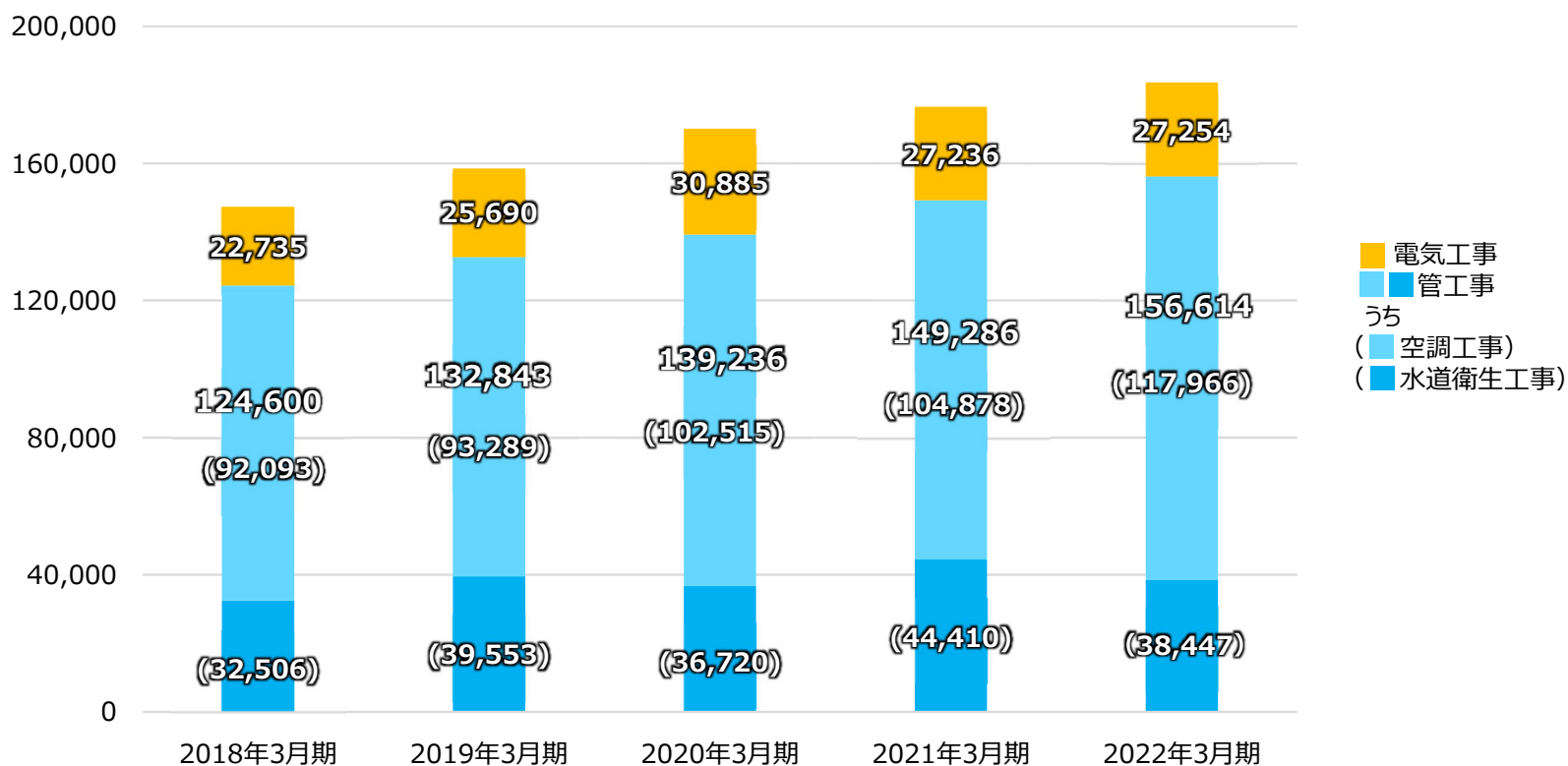
連結受注工事高（工種別）〔通期〕

（単位：百万円）

		2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
電気工事		22,735	25,690	30,885	27,236	27,254
管工事	空調工事	92,093	93,289	102,515	104,878	117,966
	水道衛生工事	32,506	39,553	36,720	44,410	38,447
	小計	124,600	132,843	139,236	149,289	156,414
合計		147,335	158,533	170,121	176,526	183,668

（単位：百万円）

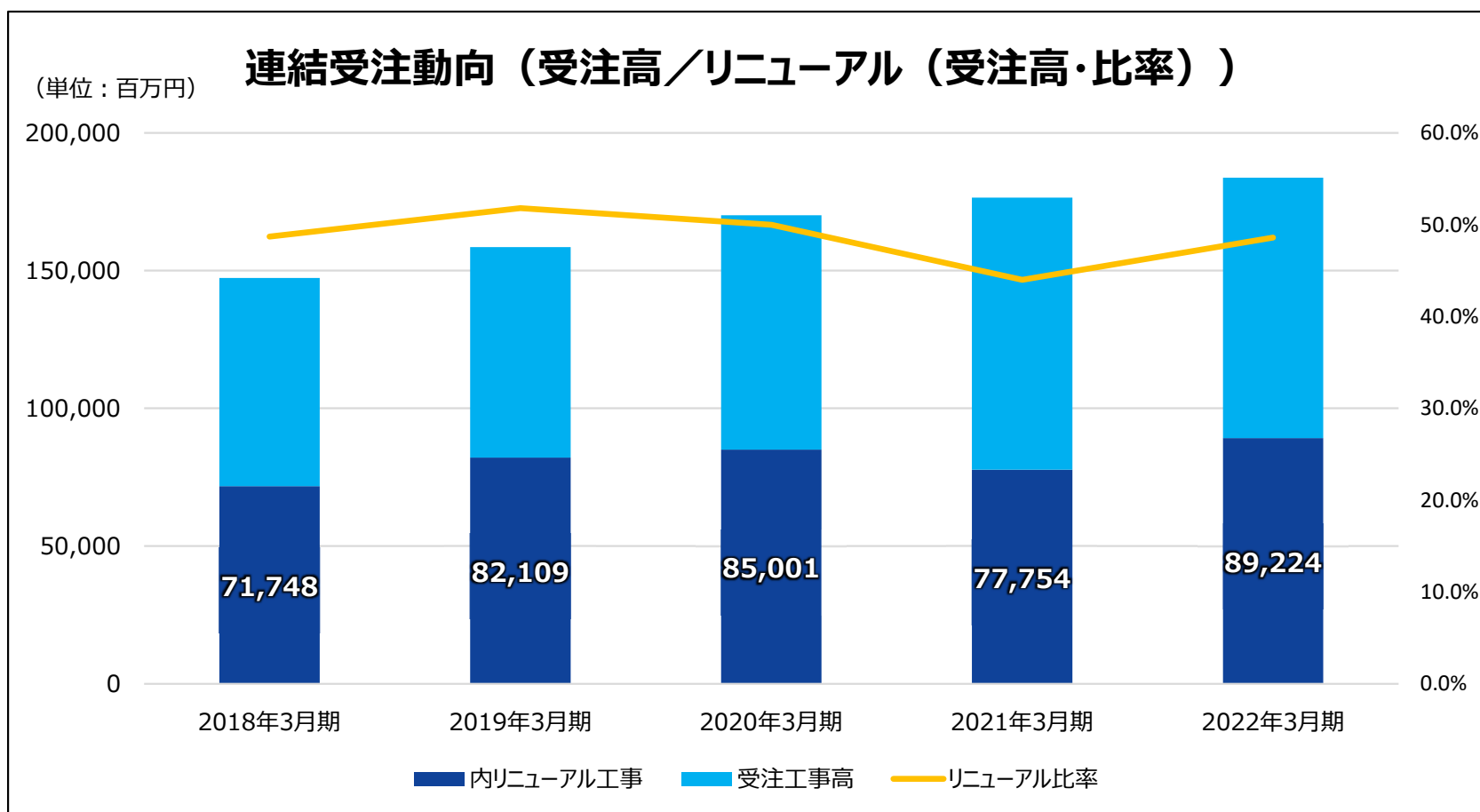
連結受注工事高（工種別）



連結受注動向（受注高／リニューアル）〔通期〕

（単位：百万円）

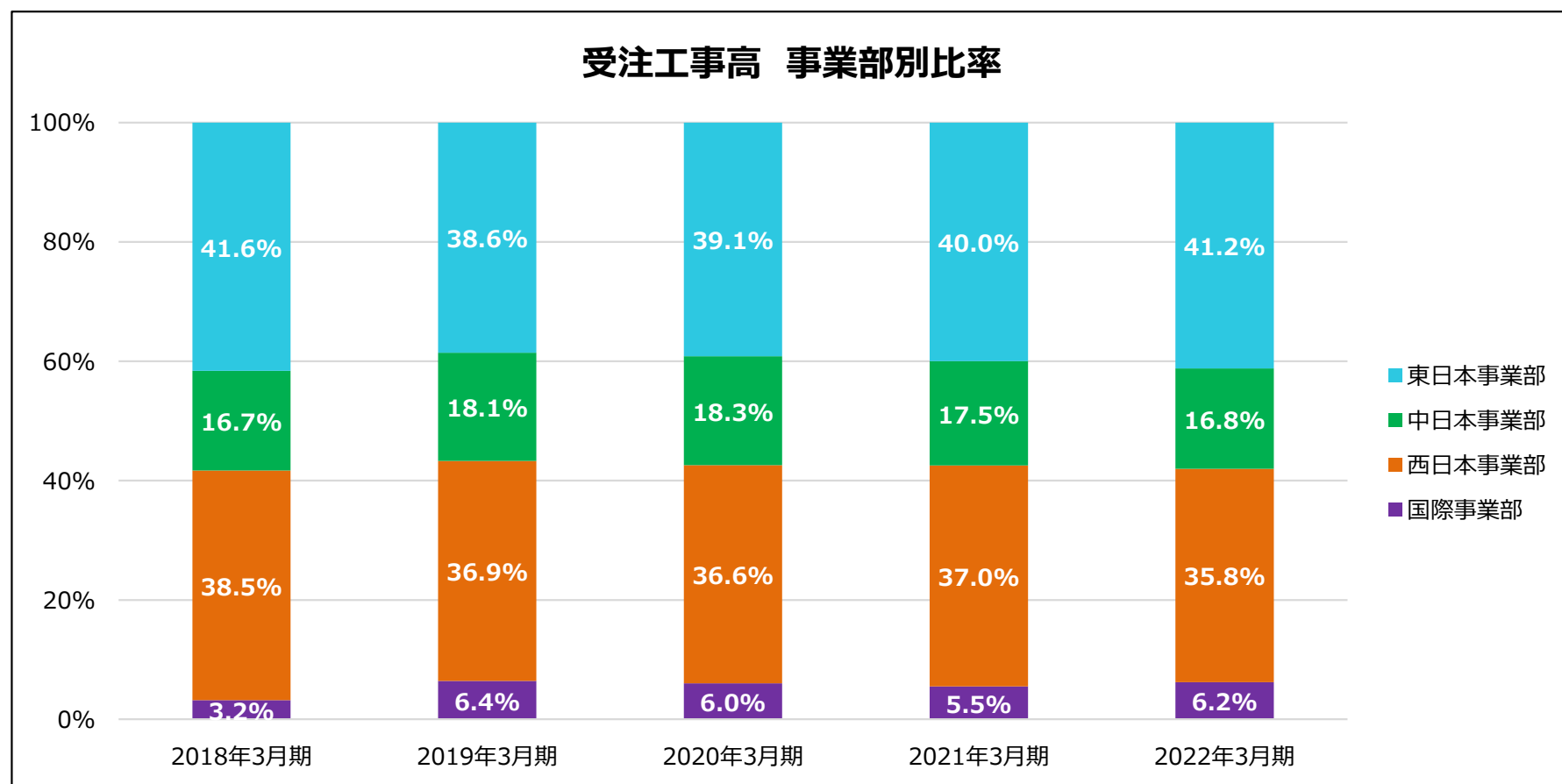
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
受注工事高	147,335	158,533	170,121	176,526	183,668
リニューアル工事	71,748	82,109	85,001	77,754	89,224
リニューアル比率	48.7%	51.8%	50.0%	44.0%	48.6%



連結事業部別受注工事高比率〔通期〕

受注工事高比率

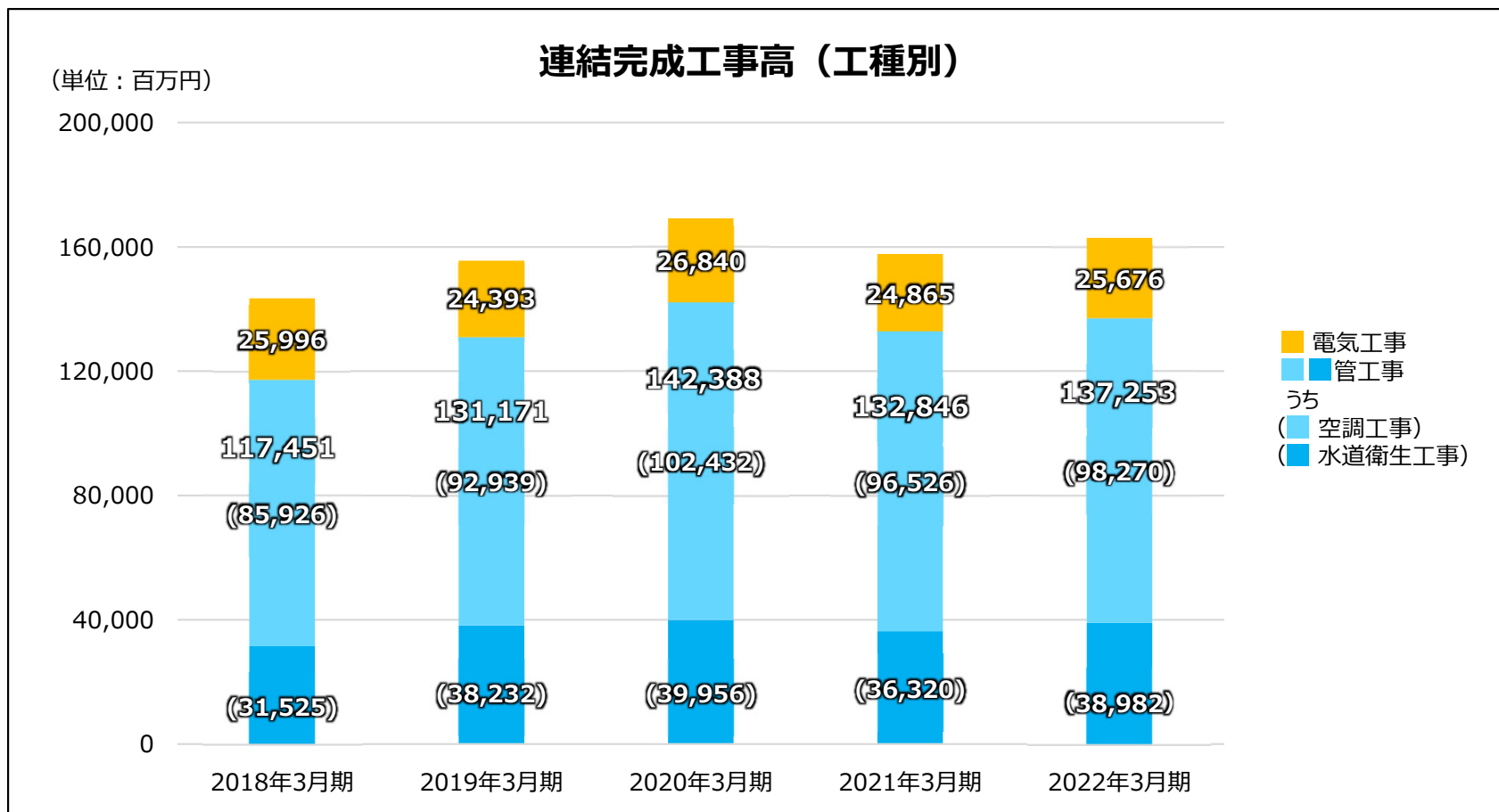
	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
東日本事業部	41.6%	38.6%	39.1%	40.0%	41.2%
中日本事業部	16.7%	18.1%	18.3%	17.5%	16.8%
西日本事業部	38.5%	36.9%	36.6%	37.0%	35.8%
国際事業部	3.2%	6.4%	6.0%	5.5%	6.2%



連結完成工事高（工種別）〔通期〕

（単位：百万円）

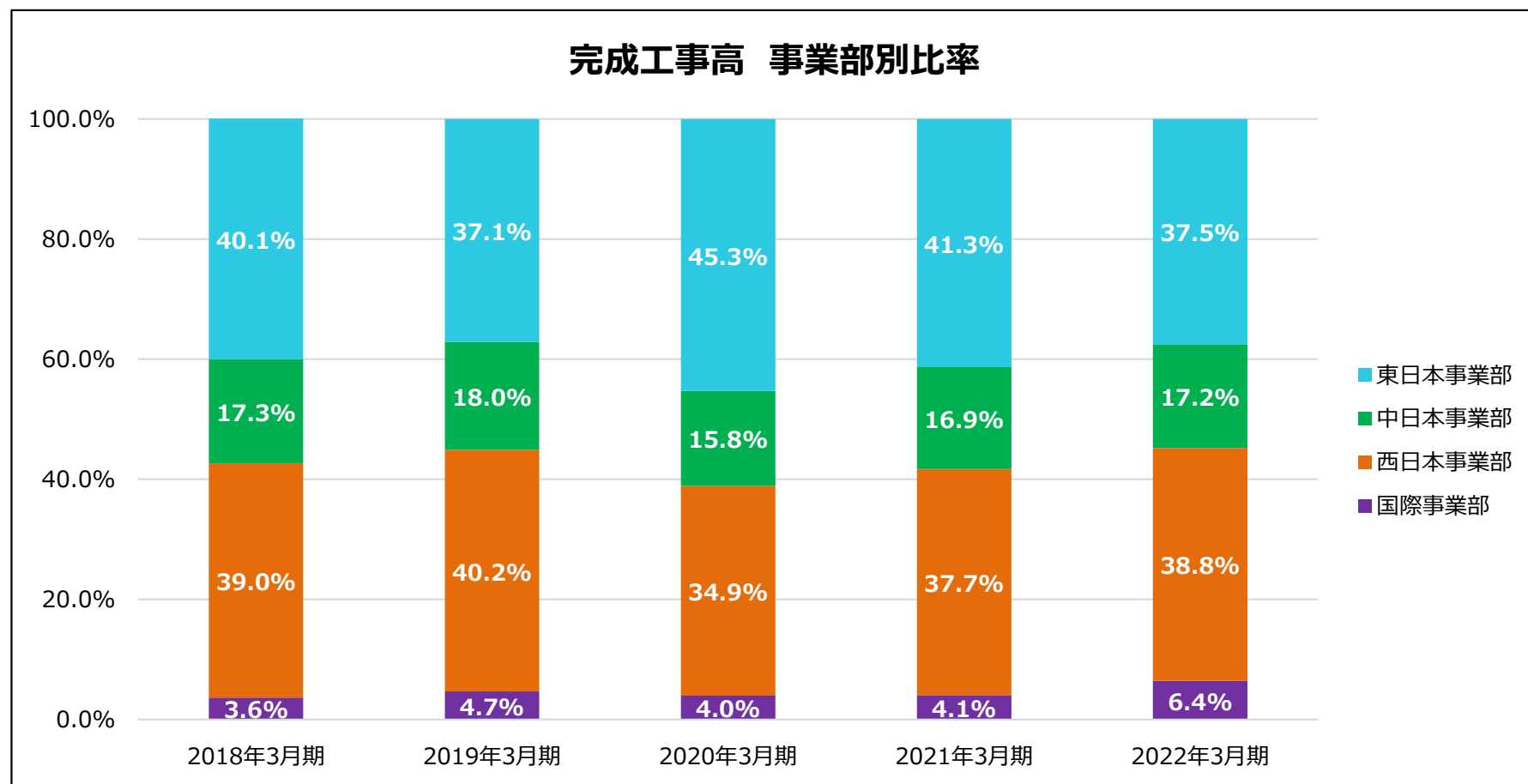
		2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
電気工事		25,996	24,393	26,840	24,865	25,676
管工事	空調工事	85,926	92,939	102,432	96,526	98,270
	水道衛生工事	31,525	38,232	39,956	36,320	38,982
	小計	117,451	131,171	142,388	132,846	137,253
合計		143,448	155,565	169,229	157,712	162,929



連結事業部別完成工事高比率〔通期〕

完成工事高比率

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
東日本事業部	40.1%	37.1%	45.3%	41.3%	37.5%
中日本事業部	17.3%	18.0%	15.8%	16.9%	17.2%
西日本事業部	39.0%	40.2%	34.9%	37.7%	38.8%
国際事業部	3.6%	4.7%	4.0%	4.1%	6.4%



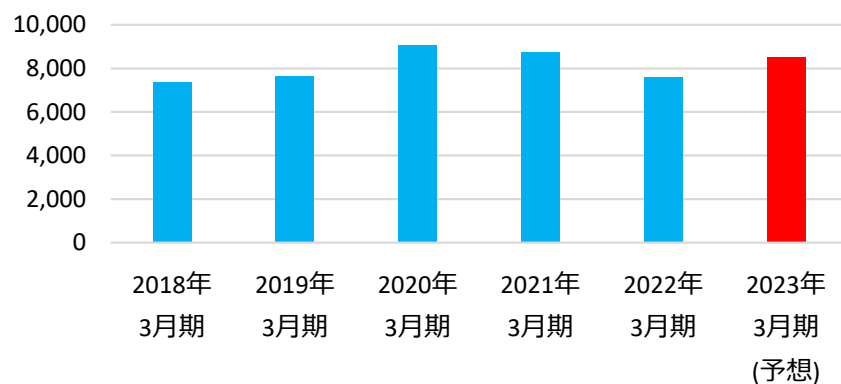
連結業績利益（営業／経常／当期）〔通期〕

（単位：百万円）

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年3月期 (予想)
営業利益	7,385	7,661	9,063	8,754	7,584	8,500
経常利益	7,674	8,057	9,282	9,262	8,095	8,700
当期純利益	5,109	5,464	6,399	6,318	5,778	6,000

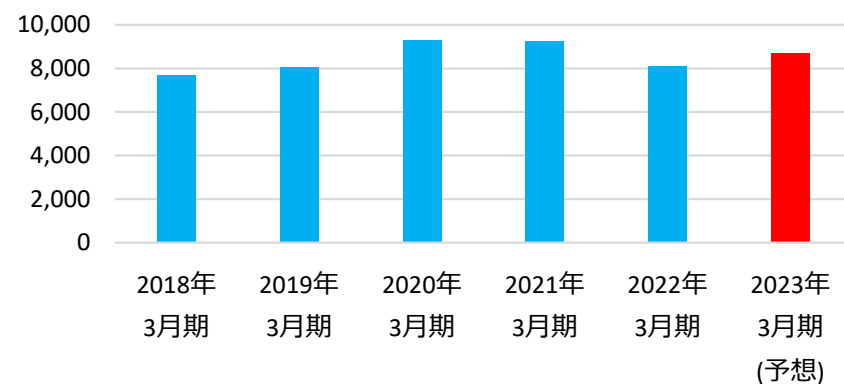
営業利益

（単位：百万円）



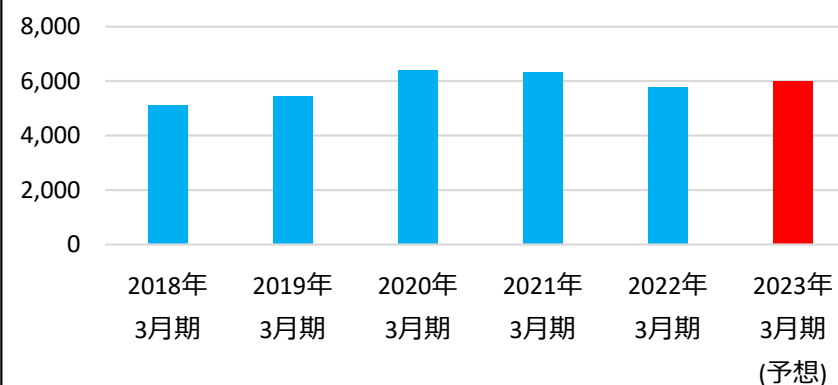
経常利益

（単位：百万円）



当期純利益

（単位：百万円）



免責事項

当社が開示する今後の計画、戦略などの将来の業績に関する見通しは、発表時点で合理的であると判断する前提に基づき作成しています。従って、様々な要因により、実際の業績が予想と異なる結果になる場合があります。

I Rに関する問合せ先

経営企画室 コーポレートコミュニケーション部：電話 03-5276-4568

〒102-8175 東京都千代田区富士見2-15-10